

○関東・中部地方の地震活動

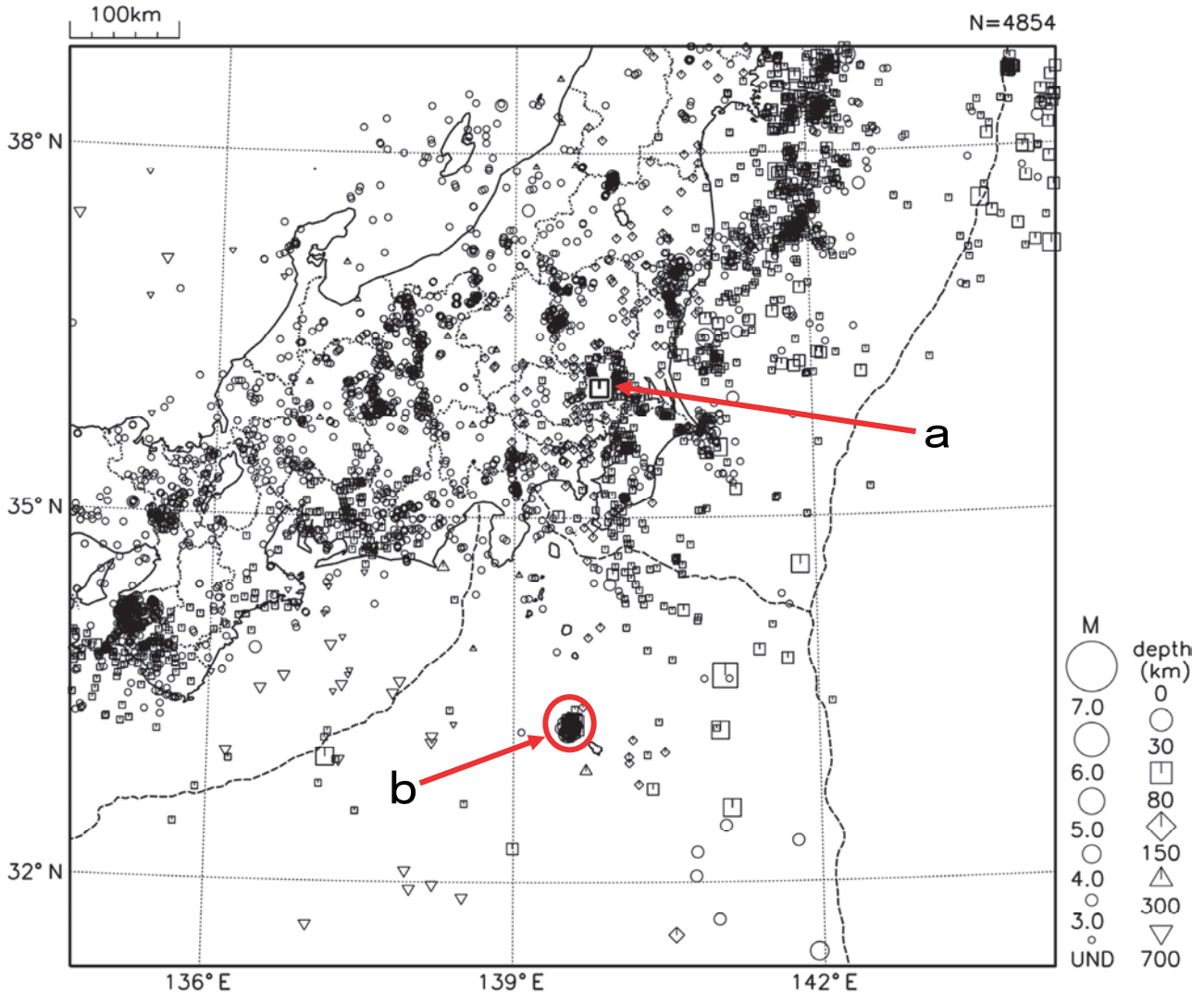


図6 関東・中部地方の震央分布図（2015年7月1日～7月31日）

[概況]

7月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は52回（6月は67回）であった。7月中の主な地震活動は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（p. 9の図5、p. 10参照）。

10日01時15分に茨城県南部の深さ45kmでM4.4の地震（図6中のa）が発生し、栃木県宇都宮市、栃木市、真岡市、下野市で震度4を観測したほか、関東地方を中心に福島県から静岡県にかけて震度3～1を観測した（p. 4、14参照）。

14日から、八丈島近海（図6中の領域b）で地震活動がやや活発になり、17日までに最大震度1以上を観測する地震が11回発生した（p. 6、15参照）。